

WGの目的

DX推進の加速と現場主導の業務改善を目指し、ローコードツールの全社展開を検討しています。

本ワーキンググループ（WG）は、各部門が抱える業務課題を共有し、最適なツール適用方法を議論・実践する場です。

会合の主旨

従来のシステム開発ではIT部門への依存や開発リードタイムの長期化が課題でしたが、ローコードツールを活用することで、現場主導で迅速な業務改善が可能となります。

今回の会合では、適用候補業務のレビューと、導入に向けた具体的な進め方、ツール活用のポイントを整理します。

業務シナリオ例

ローコードツールの適用が期待される業務を、現場ヒアリングや業務分析をもとにリストアップしました。
下記は代表的な業務シナリオの一例です。

業務名	現状課題	適用後の姿
経費申請	紙・Excelで転記ミス多発	Webフォームで自動集計・承認
勤怠集計	手作業で月次集計	データ自動集計・グラフ化
顧客情報管理	二重管理・検索困難	一元管理・条件検索

効果・評価

例えば経費申請業務では、申請から承認までの流れを全て自動化し、進捗もリアルタイムで可視化できます。
各業務の現場担当者からのヒアリングをもとに、効果や実現性を評価しています。
新たな候補や懸念点があれば、ぜひご意見をお寄せください。

導入時の課題

ローコードツール導入を進める上で、いくつかの課題と工夫が必要です。

まず、ツール選定時には「外部システムとの連携」「権限管理」「操作性」など、現場の実運用に即した観点が重要となります。

セキュリティ・ガバナンス

また、セキュリティ要件（例：社外秘データの取扱い、アクセス制御）を事前に整理し、ガバナンスを確保することも不可欠です。

現場定着の工夫

導入初期はパイロット業務で小さく始め、現場の声を反映しながら段階的に展開することで、現場の納得感や定着率が高まります。

成果や失敗事例もWG内で積極的に共有し、全社展開時のリスクを低減します。

現場導入の事例

実際に経費申請アプリをローコードツールで作成し、1週間という短期間で現場導入を実現しました。
申請・承認フローをGUIで直感的に設計でき、データ連携や自動通知もノーコードで構築可能です。

効果・メリット

導入後は、申請処理時間が従来の半分以下となり、転記ミスもゼロになりました。
現場担当者自身が画面や項目を追加・修正できるため、業務の変化にも柔軟に対応できます。
このように、現場主導の継続的な業務改善が実現できる点が大きなメリットです。

今後のアクション

今後は、適用候補業務の優先順位付けとパイロット業務の選定を進めます。

評価指標（例：工数削減率、エラー減少数）を設定し、導入効果を定量的に把握します。

議論ポイント

ツール活用の成功・失敗要因をWGで共有し、全社展開に向けた課題や懸念点を洗い出します。

現場の声を反映しながら、より実効性の高い業務改善を目指します。

ご質問・ご意見があれば、ぜひこの場でお聞かせください。

年間スケジュールとマイルストーン

ローコードツールの全社適用は1年間で段階的に実施します。

各フェーズごとにマイルストーンを設定し、進捗を管理します。

gantt dateFormat YYYY-MM title ローコードツール適用スケジュール section 体制構築・キックオフ キックオフ・
体制構築 :milestone, kickoff, 2025-04, 10d section 要件整理・パイロット選定 業務要件整理 : 2025-05, 30d パ
イロット業務選定 : milestone, pilot_select, 2025-06, 1d section パイロット開発・導入 パイロット開発 : 2025-
07, 60d パイロット導入 : milestone, pilot_release, 2025-09, 1d section 評価・全社展開計画 パイロット評価 :
2025-10, 20d 全社展開計画策定 : milestone, plan, 2025-10-25, 1d section 全社展開・教育 全社展開・教育 :
2025-11, 90d section 効果測定・総括 効果測定・総括 : 2026-02, 30d 最終報告 : milestone, final, 2026-03-15,
1d

各マイルストーンで進捗・課題を共有し、柔軟に計画を見直します。